

広報特別委員会記録

令和6年6月11日

【開催日】 令和6年6月11日（火）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前11時30分～午前11時57分

【出席委員】

委員長	恒松恵子	副委員長	古豊和恵
委員	岡山明	委員	福田勝政
委員	松尾数則	委員	矢田松夫

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

局次長	中村潤之介	議事係書記	末岡直樹
-----	-------	-------	------

【審査内容】

- 1 令和6年1月17、18、19日開催の意見交換会で聴取した議会モニターからの意見について
- 2 その他

午前11時30分 開会

恒松恵子委員長 それでは、ただいまより、広報特別委員会を開会いたします。

本日の付議事項1は令和6年1月17、18、19日開催の意見交換会で聴取した議会モニターからの意見についてでございます。資料1を御確認ください。モニターからの意見として三つ、広報特別委員会に頂いております。一つずつ皆さんと意見を募りたいと思いますので、一番上から読み上げます。「市民の声を聞くためにアンケート調査をされてみては、返信はがきなど検討されてみてはどうか。」これにつきまして、委員の御意見をお尋ねします。

松尾数則委員 話の内容から、これは議会だよりのアンケートと捉えていいで

すか。

恒松恵子委員長 議会だより等の記載はございませんけれども、アンケート調査ということでしたら議会だよりでなくても——議会だよりが一番幅広く市民から取れますけれど、例えば人の集まるところに出向いて、アンケートするというのも考えられます。返信はがきについては、やはり議会だよりに備え付けるのが一番の検討事項かと思います。

中村議会事務局次長 一つ目の意見は、広聴特別委員会の書記に確認したところ、議会だよりについてのアンケートと聞いています。

恒松恵子委員長 今、事務局から補足説明がございまして、この三つの意見は全て議会だよりに関するモニターからの意見ということで、アンケート調査については、議会だよりの中に入れるということが考えられます。いかがでしょうか。

松尾数則委員 誰に出すかですね。どういう形で出すかも含めてでしょうけど。何枚ぐらい出すかとか、お金の関係もありますし、必要かなと思いますけれど。

恒松恵子委員長 アンケート調査ということなので、議会だよりのページの中に設けるのでしたら費用もかかりません。返信はがきにつきましても、現状議会だよりは紙が薄いので、市民の皆様には手間はかけますけれども、例えば、はがきに貼りつけて、住所を書いていただくとか、そのような方式でしたら、郵便代は市民の方に負担していただくことになりますが、考えられる方法としては、返信はがきというお金を使わなくてもできる方法かと思いますけれども、いかがでしょうか。

松尾数則委員 議会だよりにページを設けて文章を書いてもらい、それをはがきにつけて出してもらおう。つまり、市民に負担をかけるわけですね。

恒松恵子委員長 市民からの意見でアンケート調査をされてみてはということ
です。どれぐらい返ってくるか分かりませんが、アンケート調査
をしてはどうかということなので、負担がかかると思った市民はわざわざ
回答していただけないかもしれませんし、その辺りは未知数でございます。
ただアンケートの項目等についても、検討しないといけませんので、
どうするかということです。従来の議会だよりではなくてもホーム
ページ内で市民の声をお聞かせくださいという形を取る中で、その中
でお答えくださいとか、ユーチューブのアンケート等もありますから、
その中で議会だよりに関して何か御意見はありますかということで代替
することもできると思います。

岡山明委員 前回の委員会でインスタグラムの話が出ましたよね。今回、何か
インスタグラムに、議会だよりを読まれた方がそういう意見として出せ
るということが可能かどうかを確認したいんですけど。

恒松恵子委員長 現在インスタグラムについてはメッセージコメントを入れる
ことができます。議会としては返信しないということになっております。
もちろん意見を集めることはできます。

岡山明委員 こちらからコメントはしないけど、市民からの意見に対してはそ
れを採用すると、受け入れるという形は、インスタグラムでできるとい
う話をたしか聞いたもんですから、今回の質問の回答としては、今後イ
ンスタグラムで皆さんの意見は聞けるという回答として、はがきとかで
はなく、インスタグラムで皆様方の意見は聴取できますよという回答
で、私は一つの方向性は出てくるんじゃないかと思っているんですけど。

恒松恵子委員長 岡山委員ありがとうございます。インスタグラム、フェイス
ブック等いわゆるそのようなツールで、編集はできなくても意見を頂く
ことは可能です。それについて、確かに議会だよりのページを増やすと

なれば予算も絡んでまいりますので、そのような意見が出ましたけれども、インスタグラム、フェイスブック、ホームページ、いわゆるITツールを使ってアンケートを募るといった意見については皆さんいかがでしょうか。

松尾数則委員　そういう話をした場合に、どうしても、インスタグラムを使えない人はどうするのかとかいう内容がやってくるんですが、その辺はどう考えていますか。

恒松恵子委員長　新しいこととしてインスタグラムを始めたから、それを使ってはどうかということになったと思います。ですから、まずアンケート調査をここで始めてみるか、あまり意見が集まらなかった場合は、また別の――返信はがき等がございますが、そのようなことを再度検討するかということになるかと思いますが、いかがでしょうか。

矢田松夫委員　やはりお金をかけない、手間暇をかけない。それから、全市民に対象となれば、議会だよりを使うと。広報として、アンケートの手段です。二つ目は、議会だよりの中に設問を書いて、そして、議会事務局のメールですね。もしくは、はがきにて御連絡くださいと、アンケートにお答えくださいとか、これならば一番簡単だと。しかしながら、このアンケートはほとんど返ってこない。山陽小野田市がやっても30%、まして議会の報告動画でアンケートを最後にお問い合わせしていますがゼロパーセント。そういうのを鑑みて、やっぱり議会だよりで全戸配布が一番いいんじゃないかと思います。以上です。

恒松恵子委員長　矢田委員から、議会だよりは全戸配布なので、いずれもわざわざの形態になりますが、ユーチューブよりは関心が高いのではないかという御意見がございました。先ほど松尾委員から、いわゆるインターネットを使わない方はどうするかという意見もありました。ということでアンケートにつきましては、議会だよりのページを使うとなると、ペ

ージが増えれば予算も広がりますけれども、議会だよりのただ4分の1ページなりですね。アンケートを試しにやってみるか、やってみないかということについての御意見はいかがでしょうか。

松尾数則委員 私は当然、このアンケートをやってみることに関しては賛成いたします。だから、その辺の手段をもう少し絞ってやるべきかという気はしています。

恒松恵子委員長 分かりました。インスタグラムをお使いか分かりませんが、福田委員はどう思われますか。やはり議会だよりでアンケートをつけるほうが望ましいとお思いですか。

福田勝政委員 議会だよりでのアンケートはいいと思います。

恒松恵子委員長 ありがとうございます。古豊副委員長はいかがでしょうか。

古豊和恵副委員長 議会だよりだけに偏るのではなくて、せっかくITを活用、インスタグラムを利用するのであれば、そちらにもアンケートとして出す、両方でやってみるっていうのもいいのではないかと思います。

恒松恵子委員長 副委員長からもそのような意見がありまして、現在ホームページ、フェイスブック、ユーチューブ等、議会だよりにはアドレスが書いてございますが、紙媒体で感想等を頂くという方向性で、議会だよりをページ、4分の1ページ程度になろうかと思います。また委員会で協議しますけれども、アンケート調査の前向きに議会だよりを使って検討するということで、この委員会としての結論でよろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり) ということで、市民の声を聞くためにアンケート調査をされてみては、返信はがきなど検討されてみてはどうかということで、ユーチューブでのアンケートがゼロであったことも踏まえて、アンケートが返ってくる、こないは別にして、全戸配布の議会だよりで、ア

アンケートのページを4分の1ほど次の号もしくは次々の12月号で何か設けるという方向性で委員会を進めていきたいと思えます。

岡山明委員 それともう一つ、今言われたようにインターネット、フェイスブックの有効利用じゃないけど、副委員長が言った両方の展開を進めるということをお願いしたいです。

恒松恵子委員長 そうですね。インスタグラム、フェイスブックやユーチューブ、ホームページ、そして新しく議会だよりということで並行して進めていけば、どの媒体が一番市民にとってアンケートの回答がしやすいか議会全体としての方向性にもつながると思えますので、そのように進めていきたいと思えます。またアンケートの内容についてはですね、再度委員会で協議しますので、当面、前向きにというか議会だよりにアンケートを掲載するという方向で進めることを委員会の決定としたいと思えます。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは次に、「議会だより、ハードカバーにするなりして、市広報紙より目立つ方向を意識してはどうか。」という御意見についてはいかがでしょうか。これが1月の意見でございますので、この6月1日号から議会だよりの表紙をリニューアルしております。ハードカバーの解釈が、この表紙を厚紙にするということかと思ってみたり、ただいま穴がついていますので、皆さん家庭で興味がある方は閉じることもできると思えますというこの御意見につきましては、現在6月で市の広報より、目立つ方向を意識した上でのこの新しい表紙のリニューアルですので、そのような回答で皆さんよろしいでしょうか。

松尾数則委員 ハードカバーに……これは表紙を厚くしたら人が読むんだらうかってことですよ。

恒松恵子委員長 ハードカバーで分厚く本のようにすることが目立つ方向は紙の厚さでないという回答はできませんけれども、目立つ方向を意識した上での表紙のリニューアルですので、リニューアルしたということ在意

見に対する回答としてよろしいですか。

岡山明委員 この二番目と三番目、全く一緒でしょう。今回表紙を変えていますので、その辺の様子を見ると当然出てこないとおかしいと思います。そういう意味で変更した観点の下で、どういう対応されるか今後注視するという形でいいと思います。

恒松恵子委員長 ありがとうございます。岡山委員の意見もありましたので、三番目の「議会だより、若者が読みたくなるような表紙にしてはどうか。若者の意見がほとんどない。」という御意見も頂いております。こちらにつきましても一応若者が読みたくなるような表紙を目指してこのような形を取っております。ただ若者の意見がほとんどないということにつきましては、議会だよりは、議会からの報告なので、若者の意見はないような状況です。ということでアンケート調査の中で、若者の方の意見が頂けることを期待して、表紙のリニューアルをもってという回答にしたいと思いますが、何か御意見はございませんか。矢田委員ございませんか。こちらの御意見は1月に頂いたものということで、6月号で刷新しておりますので、これを踏まえて回答としたいと思います。意見につきましては、新しい次々々の議会だよりの中で、アンケート調査をするということで、その中で、若者の意見も伺うことにしたいと思います。

矢田松夫委員 若者の意見というのが、議員からの若者の代表した意見が出なかった。データっちゅうんか、出ないような議会だよりとか何かよく分からんね。さっき言った表紙とかを言っているのか、あるいは議会だよりの中身で、若者の意見を吸い上げた議員の声が聞こえないと言うのはちょっと分からんし、どっちがどうなんやろか。ただ、議会だよりそのものの、レイアウトとか、そういうことを言うんだろか。それでも意味が分からんね。

恒松恵子委員長 数年前の議会だよりの中では、高校の生徒会とインタビュー記事を設けたり、住みます芸人さんの御意見を頂いたり、あと去年につきましては中学生の本会議傍聴の中で意見を頂いたことを載せたこともあったと思います。これにつきましては、議会の広報特別委員会といたしましても、きちんと対応しておると考えておりますので、解釈は様々ですけれども、回答としては、進めておりますとしたいと思いますが、御意見はありますか。

松尾数則委員 議会だよりの中に若者の意見がほとんどないって、議会報告だから当然だと思っています。ただ、議会だよりの中身に厚狭高の新聞部の内容を入れるとか、いろいろ苦勞しているわけですね。そういう内容も今後考えていくかという。既に私たちは、高校生の新聞部の人を含めての話だとか、いろいろしていますし、今後若者向けの意見をどのように出していくかって、やっぱりこれからちょっと話し合っていかなきゃいけない気はします。今度、中学生の内容を載せますから、これからもそういう内容をどんどん載せていけばいいのではないかなと思っています。

恒松恵子委員長 松尾委員のおっしゃるとおり、過去の議会だよりでいろいろ試行錯誤しております。意見がほとんどないということは、例えば、広聴特別委員会にも通ずることです。意見は積極的に取り入れるなりですね、進めていこうと思います。ほかはございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、議会モニターの意見交換会で聴取した意見につきましては、おおむね取りまとめられましたので、こちらについて、広聴特別委員会に広報特別委員会として回答したいと思います。内容につきましては、議会だよりの中でアンケート調査をする。議会だよりは、市広報より目立つ方向や若者が読みたくなるような表紙につきましては、この6月1日号から表紙をリニューアルしたという回答を広報特別委員会のものとしたいと思います。何か御意見はございませんか。

福田勝政委員 若者の読みたくなる表紙にしてはどうかで、表紙を変えて、若者が読みたくなるかな。これは何かほかの方法があるんじゃないのかな。

恒松恵子委員長 若者が読みたくなるような表紙ではないという御意見がございましたけれども、これにつきましては、今、週刊誌風というコンセプトのものに進めておりますので、以前よりは何か変わったなという若者の声も聞いております。一応ずっと広報特別委員会で進めてきたことですので、若者が読みたくなるような表紙になっておるはずでございますので、今後、この6月1日号についていろいろ御意見を頂くとしたいと思いますけれども、それからのこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）ということで、付議事項の1番、令和6年1月17、18、19日開催の意見交換会で聴取したモニターからの意見について、以上で終了したいと思います。

松尾数則委員 若い人の意見ではないんですが、お年寄りに何件か、この議会だよりについて、発行されたばかりですけど、どうでしょうかって話をしたら、「すみません、まだ読んでいません」という方も何名かいらっしゃいましたし、まだまだある意味でインパクトが少ないかなという気はしている。

恒松恵子委員長 ありがとうございます。議会だよりの現在リニューアルした表紙についてはですね、また別の形で広報特別委員会で検証したいと思います。ですから皆様も次のときまでに意見をまとめておいていただきますようお願いいたします。続きまして、付議事項2のその他でございます。

6月に中学生の議会傍聴を開催いたします。その中で、7月2日の16時から中学生との意見交換会を開催するということで、中学生のスケジュールの調整がつかしました。7月2日、16時から、場所につきましては、Aスクエアになります。皆様、よろしいですか。16時から開催ですが、ちょっと早めをお願いいたします。7月2日の16時から、議会一般質問を傍聴していただきました竜王中学校、小野田中学校の生徒さんと

意見交換会を開催したいと思いますので、皆様、よろしくお願ひいたします。事務局から補足はありますか。

末岡議会事務局議事係書記 先ほどの意見交換会の正確な時間は16時30分からスタートになります。Aスクエアの会議室の2と3を予約しておりますのでこちらにお集まりいただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。

恒松恵子委員長 ありがとうございます。ということで7月2日、開始は16時30分、16時過ぎを目安に集合していただきまして、Aスクエアの会議室2、3を予約しておりますので、当日はよろしくお願ひいたします。

矢田松夫委員 16時30分から開始やけど、会場準備等については、こちら委員会側がしないといけんと思うんだけど、その集合時間とか決めておいたほうがいいんじゃないですか。

恒松恵子委員長 ありがとうございます。事務局、会場準備につきましては、議会でやるということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）会場準備もありますので、会場何時から借りていらっしゃるか教えてください。

末岡議会事務局議事係書記 会場は15時30分から借りるようになっておりますので、そこから1時間ほど時間はあります。

恒松恵子委員長 それでは集合時刻を15時45分として会場設営を進めていきたいと思います。7月2日、15時45分にAスクエアの会議室2、3番に御集合をお願いいたします。また、改めて事務局から案内はいたしますので、よろしくお願ひいたします。付議事項につきましては終了いたしました。そのほか、何かございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、ないようですので、広報特別委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午前 11 時 57 分 散会

令和 6 年（2024 年）6 月 11 日

広報特別委員長 恒松 恵子